

第150号 6月定例会

旧南保育園と旧学校給食センターの 土地・建物を売却

「安曇野松川村山の日」植樹祭

松川村議会だより

平成24年度各会計補正予算の専決報告	
平成24年度各会計を村長が専決補正処理し、その報告がありました。	地方交付税 7381万円
会計年度が5月末で終了し、額の確定による計数整理が主なものです。	○ふるさと応援寄付金 88万円
一般会計は歳入歳出それぞれ5049万円を追加し、総額39億7569万円です。	○指定管理者（売上額4億円以上の場合1割）を収める契約となっている 400万円
【歳入の主なもの】 村税 3792万円 基金積立金	○公共施設等整備基金 1億7641万円 （平成24年度末現在残高10億5100万円） ○ふるさと応援基金 88万円 ○温泉・ふれあい交流センター整備基金 88万円 ○学校給食センター負担金 △577万円

【歳出の主なもの】
保科せつ子さん（緑町区）51歳
任期は、平成25年6月23日から4年間です。
今後のご活躍を期待します。

〔数字は千の位を切捨て〕



平成25年第2回定例会は、台湾鹿港鎮との友好都市協定調印式参加のため例年より開会を先送りし、6月18日から25日まで開催されました。平成24年度各会計補正予算の専決報告と、条例改正の報告2件を承認しました。

平成25年度一般会計補正予算と新設条例1件、条例一部改正1件、財産処分2件、村道認定1件と教育委員の任命をそれぞれ原案どおり可決・同意し、委員会に付託した請願・陳情それぞれ1件は各委員会で慎重に審査しました。

一般質問は5名の議員が行いました。

TPP交渉において「断固として国益を堅持すること」を求める意見書

全議員の提案で、意見書を提出しました

【要旨】国民生活の様々な分野への大きな影響が予想され、「日本の価値」を守るよう交渉を進めるとともに、「国益」を確保できないと判断した場合は、脱退も辞さない覚悟をもって対策を講ずるよう強く求める。

- ①政府として責任ある情報の開示と、公正・公平な運営による国民的議論の場を設定すること。
- ②「国益」確保の具体的な対策を、政府の統一見解として明示すること。
- ③この①及び②を実施しない限り、TPP交渉の脱退も辞さない覚悟で交渉すること。

意見書提出先 内閣総理大臣 財務大臣
総務大臣 外務大臣 厚生労働大臣
農林水産大臣 経済産業大臣 内閣官房長官

「教育委員会委員の任命」に同意しました

保科せつ子さん（緑町区）51歳

任期は、平成25年6月23日から4年間です。
今後のご活躍を期待します。

〔専決〕処理に期限があるが、議会を開催できない場合に、村長の権限で処理し、後に議会に報告する仕組み。

条例関係など

専決で、4月から地方税法に合わせて一部改正した「村税条例」「村国民健康保険条例」2件を承認し、新設・一部改正条例各1件を可決しました。

部を設置する時に必要な事項を定めるもの。

「財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一

8097万9750円で譲渡。

「村新型インフルエンザ等対策本部条例」2件を承認し、新設・一部改正条例各1件を可決しました。

学校給食センターの土地・建物を株式会社辰巳へ2500万円で譲渡。(組合規約により、村には35万円)

平成25年度一般会計補正予算

信号からかぼちややま農場)歩道改良
公園費 249万円
県元氣づくり支援金(2事業採択) 451万円
東松川南区遊具設置 3728万円となりました。
消防施設費 104万円
災害対策費 207万円
公園費 513万円
馬羅尾高原グランド防球ネット張替え等

請願・陳情

【採択】

◎生活保護基準の引き下げをしないことを求める意見書提出についての請願(賛成全員)

【趣旨採択】

◎墓地開発事業反対についての陳情(賛成多数)

墓地開発事業についての要望書を村長に提出しました

【要旨】村は、宗教法人に「地元区の同意が得られないから申請書を受理できない」と「松川村むらづくり条例」に則り通知しているが、住民の不安な心情が十分理解できることから要望を付して趣旨採択とした。

村民憲章や村づくり条例の「誇りと愛着のある緑あふれる美しい村づくり」という理念を貫く強い意志をもってこの事態に取り組んでいる村とともに、村民の意見を代表する議会も負託に応えていくことをここに表明し、村においては関係区から提出された回答意見を尊重し、この搖るぎない理念に基づく村づくりをさらに進められるよう要望する。

平成25年度の予算意見に 村から回答

平成25年5月21日

議案等審査特別委員会

議員全員で構成する議案等審査特別委員会は、平成25年度各会計予算に意見を付して承認しました。その意見に対し、村から回答がありました。

◎防災対策に女性意見が反映されるよう配慮を。また、自主防災組織が継続的に運営できるよう万全を期されました。

要旨

回答 現在、地域防災計画の見直しを行つており「村防災会議」に女性の登用を検討する。自主防災組織の運

營等は、各区の自主性にお任せしているが、各組織がスムーズに活動できるよう防災計画の周知、さらさえあいまッピの更新等、積極的に支援したい。

◎各区の活性化対策としての自治振興費への取組みは評価できる。協働の村づくりが進むよう推進されたい。

回答 一層推進したい。

◎特定健診の受診率向上の見直しを行つており「村防災会議」に女性の登用を検討する。自主防災組織の運

回答 一層努力する。

議会も村も力を合わせ、安全・安心で住みよい明るい村づくりを軸に見据えての、村の平成25年度の予算執行を確認しました。

財産の処分2件

旧南保育園の土地・建物を社会福祉法人幸充へ

と佐藤節子議員が反対討論を、「陳情書にある事項に則り進められ事前協議

ではなく採択を」と佐藤節子議員が反対討論を、「陳情書にある事項に則り進められ事前協議

すべてが確定しているものではなく、墓地開発に調して毅然と取り組んでいく」と甲斐澤明議員が賛成討論を行いました。

一般質問（～5人の議員が登壇～ 平成25年6月21日）

平成25年6月21日



村の観光戦略

横沢喜造議員



住宅リフォーム継続を
渡邊尚省議員

渡邊尚省議員

標がある。当分の間は20名を派遣するが、全員行けるよう努力する。

それ以上に必要か条例見直しがよいかは今後検討していく。

問 最近5年間の村への観光客数の推移は。

答 平成20年は51万8千人・21年は54万6千人・22年は53万2千人・23年は60万5千人・24年は55万8千人。

問 訪れた場所は。

答 安曇野ちひろ美術館が16万3千人・道の駅が19万3千人・すずむし荘が14万6千人。

問 観光客は村に何を期待して訪れるか。

答 豊かな自然と安曇野らしい田園風景である。

問 安曇野ちひろ美術館が最大の魅力である。

問 美しい安曇野の田園風景を守る今後の対策は。

答 農地を荒らさない。屋敷林の整備である。

問 産物認証制度・鈴虫探索会の誘致につながった。

問 農家民泊・修学旅行

生の受入れ農家の確保は。現在農家民泊連絡協議会の会員は29戸。常盤・西山地区を含め33戸である。

問 台湾鹿港鎮との国際交流の今後の方針は。

答 年度内に中学生を派遣したい。村民の皆さんも訪問できるよう観光協会で計画中。

問 村独自のウォーキングを行なう。

答 ゲイベンツの実施計画は。国営アルプスあづみの公園と共に催でツーデーウォー

問 観光事業を進める上でトイレは必要。収蔵庫・ウォーキングコースにトイレの設置を望む。

答 必要性は認める。今検討中である。

問 美しい安曇野の田園風景を守る今後の対策は。

答 農地を荒らさない。屋敷林の整備である。

問 産物認証制度・鈴虫探索会の誘致につながった。

問 農家民泊・修学旅行

2年間の実績は。

答 件数は103件、補助金額は1630万円。

問 地元業者にも聞いてみたが、仕事量も増えており継続してほしいとの意見が多いが。

答 繼続の希望は聞いていない。大きな効果はあると思うが、时限立法でもあるし、いつたん平成26年3月で終了したい。

問 全員を研修させないと不平等ではないか。

答 台湾からも研修に来てもらい、その際全員で交流してほしいという目

標がある。当分の間は20名を派遣するが、全員行けるよう努力する。

問 開発が行われる際はむらづくり条例に則り、業者が関係地区で説明会を行なうことになっているが、その可否について意見を付することは住民の負担が

相当大きい。いかに負担定による効果は何か。

答 農家民泊・松川村農産物認証制度・鈴虫探索会の誘致につながった。

問 路を南側にも造れないか。

答 今後検討する。

問 憲法第96条の改正の現況と対策は。

答 霜被害はりんご・アスパラなどで全体の約30%。ひょう被害はりんごで5%。

問 今後は中学生を20名研修派遣すると聞く。目的は。

答 外国の文化を肌で感じてその経験を将来に生かすこと。

問 全員を研修させないと不平等ではないか。

答 松川村地下水保全条例の制定は。

答 むらづくり条例で地下水保全を図ってきたが、

村は積極的に指導するべきだが考えは。

答 村民が幸せであるかどうかを判断したい。

問 工場などの増床や宅地造成である。

答 村が事業申請者に關係地区での説明会を開催を指示する際、誰が開催要請をするのか。

問 説明会の折、開発事業の評価表などがあると関係住民が判断しやすいと思うがどうか。

本丸は第9条の改正で、戦争ができる国になるとということ。子どもたちが戦争に駆り出されるようなことは絶対許してはならないと思うが。

問 売法第96条の改正の現況と対策は。

答 霜被害はりんご・アスパラなどで全体の約30%。ひょう被害はりんごで5%。

問 今後は中学生を20名研修派遣すると聞く。目的は。

答 外国の文化を肌で感じてその経験を将来に生かすこと。

問 全員を研修させないと不平等ではないか。

答 松川村地下水保全条例の制定は。

答 むらづくり条例で地下水保全を図ってきたが、

村は積極的に指導するべきだが考えは。

答 村民が幸せであるかどうかを判断したい。

問 工場などの増床や宅地造成である。

答 村が事業申請者に關係地区での説明会を開催を指示する際、誰が開催要請をするのか。

一般質問



長野県観光マップ

佐藤節子議員

連携している。

問 道の駅付近の高瀬川河川敷にゴミが漂着しており住民課に連絡したが、

組織その他関係機関の組織体制、機能確認と評価など行う。②中学校を会場に避難所の体験と講習。

村民の防災意識の高揚と知識の向上を図るため9月1日に実施予定。

問 マップに天然ラドン馬羅尾天狗岩温泉と表示されているが「すずもし温泉」にできないか。

答 8月以降「すずもし荘」が書き加えられる。

問 道の駅名を分かりやすく表示し、着地観光を進めてほしい。

答 高瀬川右岸土地改良区から3名、村職員1名が2日間で40キロ撤去した。

問 今後の対策は。

答 安否確認を重点に各

問 道の駅名を分かりやすく表示し、着地観光を進めてほしい。

答 要望していく。

問 今後の対策は。

答 障がい者の訓練は。

問 国営アルプスあづみの公園大町・松川地区の文字をもっと大きくでき

答 河川管理者は。

答 住民へは不法投棄・拡散ゴミ防止の啓発をする。

答 安否確認を重点に各

問 8月以降「すずもし荘」が書き加えられる。

答 高瀬川清掃管理は県知事であり大町建設事務所の河川巡視員が見回っている。県から委

答 今年の訓練の目標は。建設事務所には環境整備を申し入れた。

答 幸福度97%のブーケに近づいていると思う。

墓地開発のその後



新村久仁男議員

給食センターへ地元食材の提供を



新村久仁男議員

給食センターへ地元食材の提供を

問 開発事業承認申請書を受理しないのはなぜか。

答 むらづくり条例第18条の、住民との協議が整つたと認められないため。

答 全体で32%。米・味噌は100%。

問 供給調整をする主体はどこか。進捗状況は。

答 JA南部農業センター。

太田教育委員長から報告書を受け取る議長

問 開発事業承認申請書を受理しないのはなぜか。

答 事業者ができるのか。

答 事業者は同意を得る努力をすると言っている。

問 供給調整をする主体はどこか。進捗状況は。

答 ソフト導入を検討。

太田教育委員長から報告書を受け取る議長

問 事前協議終了通知を出したのか、また業者は不服申し立てしているか。

答 まだ事前協議中である。

答 間違はない。

問 住民の不安を察しながら対応してほしい。

答 立場は中立。明確な

問 今後どう進めるのか。

答 まずは申請書類が整わねば協議が進まない。

問 第6次総合計画の現状

問 呉童館の新設予定は。

答 平成26年度建設をめざし進めている。

問 開発事業承認申請書を受理しないのはなぜか。

答 事業者ができるのか。

答 事業者は同意を得る努力をすると言っている。

問 提訴された場合村民を守るという前定例会の答弁に間違はないか。

問 開催など生産組織の充実を図る予定。

太田教育委員長から報告書を受け取る議長

全員協議会から

○平成25年6月25日「平成24年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価」について教育委員会から

学ぶちから・豊かな心の育成には村費教員を適所に配置し取り組んでいますが、小中学校とも「総合的な学習の時間」が削減されており、特色ある教育活動を拡充するには、学校、家庭、地域が連携することが一層求められます。

食育の推進は、新しい給食センターが中学校に併

設され、栄養教諭が2名体制となり、子どもたちが郷土の食文化や産業に対する理解を深め、生産者へ感謝の気持ちを育む場が整備されました。

社会教育・生涯学習の推進は、すずの音ホールを中心に、様々な学習活動を援助し地域と密着した事業展開をしています。等の報告がありました。

○平成25年6月6日「地域高規格道路松本糸魚川連絡道路の整備」に関する基本的な考え方について、大町建設事務所より説明を受けました。

○平成25年6月19日「北アルプス広域消防指令センター整備」について、北アルプス広域消防本部から説明を受けました。平成25年度末から運用予定で、高機能システム導入により利用者からの情報が適格に把握でき、迅速な対応が可能となります。

住民懇談会開催

平成25年4月25日



議會改革 7

〔アンケート結果〕

約40人の参加者から、寄せられた感想を紹介します。(▲は要改善、△は要努力、○は評価をする。)

〈細野区〉 吉沢富雄さん

懇談会に参加した住民も議会

- ▲ 説明が長く、住民との問答が短い。
- ▲ 内容が豊富すぎて難解。
- ▲ もう少し大勢の人が来ると思った。
- ▲ 内容の説明はポイントを決めて。
- ▲ 村すべき事で、代弁者になっていた。
- ▲ 議員の説明時間が長過ぎ、住民の発言時間が長い。

議会が村の事業計画及び執行に要する予算計画（生活基盤、環境・産業・行財政・保健福祉・教育・生涯学習文化と多面にわたる課題）に対して真剣に取り組まれていていることに敬意を表します。

懇談会に参加した住民も議会の説明を評価し、意見を述べることが大事です。本来は村が説明すべき行政報告を議会主催で開催したことを認識して意見提案がされれば成果が高まります。設定された時間での懇談会ですから、議会の熱意は理解でき

住民と歩む議会

議長 平林寛也

議会主催による住民懇談会を開催しましたとこ

私は、地方分権が進む中、住民に開かれた・住民

う、大変熱心な皆様方のご
参加をいただき、心からお

と歩む議会が求められて
いると確信しています。

礼申し上げます。

重要案件に対する議員の態度の公表、請願や陳情を行つて住民の意見を反映する。

した経緯や付した意見等をテーマとしました。可決

を行った住民の意見聴取
住民と自由に意見交換す

の説明の後、質疑に入り最後はその他のご意見をいた

開催等々。これからも住民の皆様の意見を反映す

たく予定でした。しかし、議会側のあいさつや説明が

るべく、実践を重視し、改革を推し進めていきます。

長く懇談の時間が少なくなつてしまい責任を感じております。

住民の皆様には今後とも
議会にご支援いただきます
ようお願い申し上げます。



〈北細野区〉 金井小百理さん

（北細野区）金井小百理さん 思います。ただ残念なことに、私たち世代の大半は、仕事や子どもに関する事以外、縁遠いものです。今回、知人の誘いで初めて住民懇談会に参加しました。

（北細野区）金井小百理さん 私たち世代の懇談会とは子どもに関する事以外、縁遠いもので。今回、知人の誘いで初めて住民懇談会に参加しました。緊張して足を運んだ会場、予想通り私たち世代の参加者はほとんどいませんでした。個人個人意見が違うのはもちろんですが、世代間でも疑問に思つてゐる事・意見したい事等、それぞれの視点があると感じました。理想は、各世代が気兼ねなく意見を交わすことができる事なのかなと 思います。ただ残念なことに、私たち世代の大半は、仕事や子育てに精一杯でなかなか他のことに目を向ける時間と余裕がないのです。また、個人個人では意見があつたとしても、多くの人の中で発言する事は、私も含めなかなかできないものです。誰もが気軽に自分たちの思つてゐる事を伝える堅苦しくない方法があるのなら、もう少し多くの人や世代の異なる人の意見もくみ取つていただけるのかなと感じました。

北アルプス広域連合 議会

平成25年5月定例会

平成25年5月30日

大町市・池田町・白馬村の改選により議会構成などを議決しました。

案件は、専決処分の報告7件・議案2件で、すべて原案どおり承認および可決。一般質問を3名が行いました。

○議会選出監査委員に大町市大厩議員。

○平成25年度消防指令センター整備事業大北4カ所(本部・南部・鷹狩山・北部)を2億9400万円で、川崎市の株富士通ゼネラル情報通信ネットワークと随意契約。工事完了予定は、平成26年2月末日。

平成25年5月29日 平成24年度専決処分の報告を承認。
○ルーラルまつかわの残り2区画について、坪

村土地開発公社理事会

単価を10坪以内で引き下げる。

昭和53年に第1号を発行以来、今回150号となりました。

○細野区にある遺跡公園のうち278平方メートルを隣接者に売却。

○既存団地内の集中浄化槽を下水道に接続。現在26中10団地が接続済み。

池田松川施設組合議会

平成25年6月臨時会

平成25年6月7日

池田町議会の議員が申合せによる改選となり正副議長の選挙が行われ、議長に松川村平林議員、副議長に池田町立野議員を選出。

○議会選出監査委員に大町市大厩議員。

○平成25年度消防指令セ

ンター整備事業大北4カ所(本部・南部・鷹狩山・

北部)を2億9400万

円で、川崎市の株富士通

ゼネラル情報通信ネット

ワークと随意契約。工事

完了予定は、平成26年2月末日。

平成25年5月29日 平成24年度専決処分の報告を承認。

○ルーラルまつかわの残り2区画について、坪

歳出の主なものは、解体費用1561万円の減額。(旧給食センターの建物も含めて売却することになつたため)

今後の参考にさせていただきます。

議会だよりが150号

昭和53年に第1号を発行以来、今回150号となりました。平成18年からは、自立を宣言した村として経費の削減を図るためにページ数を減らし、皆さんにより読んでいただくために村広報へとじこむ形になりました。議会としての取り組みを限られたページの中であるべく分かりやすい文章・用語で読みやすく正確にお伝えするよう編集委員一同努めてまいります。

【住民懇談会の折に実施した議会だよりについてのアンケート結果です】

Q 読んでいますか。

読む…12 時々…8 読まない…0

Q 読みやすいですか。

読みやすい…12 読みにくい…0 普通…2

Q 以前は単独で発行、現在は村広報へ綴じ込みです。どちらが良いですか。

単独…1 綴じ込み…15 どちらでも…2

Q 本会議をインターネットで無料配信していますが、見たことがありますか。

ある…4 ない…16

Q その他、意見・ご要望等

●わかりやすく書かれており非常によいと思う。
●詳細内容が分かりにくく。
●狭いスペースの中で大変簡潔にまとめてあります。
●理解。毎回楽しみなので今後も続けてほしい。
●インターネットを見てみたい。
●150号となるこの機会に委員の増員、内容や経費等勘案して検討されたい。

活動のひとこま



5月15日
中学生と一緒にプラント設置作業



6月12日
鹿港鎮友好都市協定調印式に正副議長が出席



7月4日
全員で県へ要望行動

編集後記

「永遠の〇」。今年、本屋大賞を受賞した百田尚樹氏のデビュー作。

「未だ見ぬ娘の顔を見るまで死はない」と妻と約束したが、終戦間際に特攻で戦死した妻のゼロ戦乗りの生涯を孫が探る物語。

終戦記念日の8月15日、村では成人式が行われる。新成人も過去の戦争の悲惨さを知り、現在の平和の尊さを考えてほしい。

(矢口)

議会報編集委員会 委員長 棚葉良子 副委員長 渡邊尚省 委員 平林寛也 甲斐澤明 勝家尊 矢口あかね

議会報編集委員会

本会議の様子をインターネットで無料配信しています。

「松川村議会」で検索してください。いつでも繰り返し見られます。

発行責任者 松川村議会議長 平林寛也
編集 松川村議会報編集委員会